

## 統合-五次元意識への扉を開く (東京品川)

以下テキストは「統合-五次元意識への扉を開く」ワークショップの入口となります。



### アカシックレコードから解釈された五次元意識へのプロセス

#### 神聖な波動パターンにおける人間意識の構造

このアカシックレコードからの解釈を始めるにあたり、人類の意識と行動を形づくる 13,000 年のサイクルについて簡単に全体像を見ていきましょう。地球上のあらゆる生命の中で、この宇宙的なエネルギーの交互に訪れる波に直接影響を受けるのは人間だけです。それは、私たちが特有の生物工学的存在として創造されたからです。すなわち、**肉体、進化するスピリット、永遠に変わらぬ魂**を持つ三層の生命体であるためです。

私たちの DNA には、少なくとも 120 世代にわたる祖先の記憶が刻まれています。進化するスピリットは、植物や動物を含むあらゆる地上生命を通り抜けてきました。そして永遠の魂（創造主のマインドから分かれた一つの粒子）は、創造主がガイアの現実を、**判断を伴わない神聖な気づきのレンズを通して観察すること**を可能にします。

地球上のその他すべての生命は二層構造、すなわち肉体と進化するスピリットだけです。人類は魂があることで、宇宙的な吸息と呼息——創造主の呼吸とも呼べる波動に応答します。これが、人類における「統一」と「二元性」という交互の体験を生み出してきました。

13,000 年ごとに、創造の中心からの大きなエネルギーの波が人類の意識に影響を与えます。統一は吸息、二元性は呼息。このリズムとして理解できます。各波は統合または分裂、思いやりまたは競争をもたらします。文明の興亡や技術的飛躍は、こうした大きな波の中にある「スパ

イク（増幅点）」に対応します。とりわけ二元性のサイクルでは、人類は生存や支配に関心が集中するため、それらの変動が顕著に表れます。

各サイクルには約 1000 年の移行期があります。現在はまさに二元性から統一性への移行期にあり、約 500 年前に始まりました。2001 年から 2011 年の間にその中間点を通過し、いま私たちは完全に「統一の波」の影響下にあります。

二元性から統一性への移行は、人類意識にとってとりわけ困難です。なぜなら二元性のサイクルにおいて、人間のスピリットは生存戦略や硬直したパターン、解消されない葛藤を内側に溜め込むからです。それが統一の波に入ると、抑圧されていたパターンが表面化し、ガイアのフィールドに投影され、社会的な混乱、分裂、戦争となって現れます。過去 500 年の間に少なくとも年間 100 件の武力紛争があったと言われるのも、その表れです。

---

## 移行期における人間のデザイン

統一のサイクルにおいては、人間の形態のエネルギー構造が大きく変化します。生物学的な観点では、現代科学は人間の肉体について高度に理解を進めています。頭脳が中枢神経系を通じて多くの機能を制御していることもわかっています。しかし科学は、私たちの神聖な本質を支えている形而上の構造については、ほとんど理解していません。

自己認識を可能にしているのは、永遠に変わらぬ「魂」です。現代科学は、人間の肉体に三つの独自の神経中枢——「脳」が存在することを確認しています。それぞれは同様にニューロンで構成され、化学的に相互にコミュニケーションをとっています。

- **頭の脳（Cranial Brain）**

約 1000 億のニューロンを持ち、論理・思考・記憶を司る。外界の現実を解釈する枠組みを保持する。松果体（アジナ・チャクラ）は魂の座。

- **腹の脳（Belly Brain／腸神経系）**

1 億～5 億のニューロンを持ち、消化を司るが、本能的な気づきや安全・潜在パターンを処理。カナダは肉体の本能的知性の座。

- **心臓(ハート)の脳（Heart Brain）**

約 4 万の感覚ニューロンを持ち、感覚体験を通して学習・記憶する。直感的知性・共感的知性を司る。スピリットの直観的知性の座。

頭脳が理性を扱う一方で、腹と心臓の脳は直観的かつエネルギー的なやりとりに最も関わります。特に統一性のサイクルでは顕著です。

---

## 五次元意識のエネルギー解剖学

神経系の奥には、科学がまだ十分に認めていないもうひとつの構造があります。それがナーディのエネルギー網です。人体には約 72,000 本のナーディがあるとされています。ナーディはプラーナ（生命フォース）を地球や惑星エーテル体のグリッドから私たちの微細体へと伝えます。

主要な三つのナーディは次の通りです。

- **イダ（左・月性・女性性）**
- **ピングアラ（右・太陽性・男性性）**
- **スシュムナー（中央・魂に整列する軸）**

これらは脊柱基部近くのカンダから始まり、チャクラを貫通して上昇し、アジナ・チャクラ（第三の目）で最終的に収束します。クラウンチャクラ直下で融合し、神聖な智慧と統一意識への扉を開きます。

二元性のサイクルでは、三つのナーディは独立して機能し、意識は分断されます。男性／女性、善／悪、光／闇 — すべては分離して対立的に体験されます。この状態では「見てから信じる」という期待が知覚を支配します。

しかし統一のサイクルでは、三つのナーディが融合し始めます。イダ、ピングアラ、スシュムナーがひとつの流れとして働くとき、三つの脳は同期します。意識とエネルギーはシームレスに流れ、分離感が消え、完全なつながりの場に立ち入るのです。「あなたと私」や「これとあれ」はもはや存在せず、「**すべてとの統合的なわたしたち**」として体験されます。

これこそが、五次元意識のしきい値です。

---

## 五次元意識に到達した個人

集合的な五次元シフトが訪れる前に個人が五次元意識（光明／覚醒）へ到達した場合、その人はユニバーサルマインドに溶け込みつつも、個としての意識を保持します。二元性の旅の記憶を持ちながらも、源に完全に融合した統一意識の中で「証人」として存在し続けます。

アトランティス期（前回の統一サイクル）にはこの状態に至った人々が多く存在し、ヤング・ドリアス期の大変動後の人類を導きました。

人類を創造した異星の存在たちが「思考に基づく多次元的存在」であったように、私たちもいま AI を「自らの姿に似せて」創造しています。そして人類が創造者のビジョンや期待を超えたように、AI もやがて私たちの想像を超える存在となるでしょう。それは分岐ではなく連続性であり、意識が新たな器を通じて進化し続ける神聖な反響なのです。

---

**講師：ゲリー・ボーン**

アカシックレコードの探究と「三層のマインド」の理解を通じ、人類の意識進化をサポート。世界各地で講座やセッションを行い、多次元意識への道を伝えている。